

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

一人一人に分かる喜びを味わわせながら学力向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。その際、個に応じた指導を充実するためにつまずきやすい単元の検証と分析による授業改善を行う。また数学科及び英語科では、指導方法工夫改善加配教員を活用し少人数習熟度別指導を展開し、きめ細やかな指導を徹底する。清瀬市教育の情報化推進計画の下、一人1台タブレット端末の利活用を促進し、個別最適な学びと協同的な学びの両輪を実現する。

東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査に関する調査等における課題に着目して、学習集団の構成や編制を工夫し、健康の保持、体力向上に実践に努める。

体験的な学習活動を設定し、生徒の意欲を喚起した指導を重視する。また、学校図書館経営計画に基づき、学校図書館を利活用して探究的な学習活動を進め、広げ深める。

イ 道徳科

人としての生き方の自覚を促し、道徳性を養うために、保護者や地域住民をはじめとした多様な人々との協働による学習活動を行う。その際、道徳科の指導内容が、いじめの未然防止・早期発見等の日常生活におけるいじめ問題の対応に生かされるようにする。授業においては、「生徒が自ら問題を見つけ、解決する」主体的な学びになるよう指導方法を工夫し、「考え、議論する道徳」を実践する。また道徳教育推進教師を中心に担任・副担任が協力した授業や保護者・地域と連携した道徳授業地区公開講座の実施により、道徳的な判断力や態度を育成するとともに道徳的価値の理解を深める。

ウ 総合的な学習の時間

職場体験や自然体験、修学旅行等をコロナ禍にあっても実現できるよう、柔軟に体験的な学習活動を計画し、3年間を通じたキャリア発達を支援する教育活動を行う。特に「ふるさと清瀬」を意識した地域社会に関すること、東京2020レガシーを受け継いだ国際理解に関すること、人の暮らしに欠かせない福祉・健康に関することについて考えさせることに重視して主体的に判断し、課題を解決する能力や態度を育てる。

キャリア教育の視点から体験的な学習活動を体系化し、キャリア・パスポートを用いた指導を推進する。また「図書館を使った調べる学習コンクール」への取組を通じて、一人1台タブレット端末や学校図書館を積極的に活用した探究的な学習を進める。

＜第1学年＞	＜第2学年＞	＜第3学年＞
“自己への理解”	“社会への理解”	“自己と社会との関わりへの理解”
「清瀬」とのかかわり 身近な職業とのかかわり	「東京」とのかかわり 職業体験を通して	「日本と世界」とのかかわり 進路選択を通して

エ 特別活動

運動会や音楽祭などの学校行事を通して、日常の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めるとともに、運動や文化に親しむ態度を育成する。その際、規律ある集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養を資する活動を行う。

生徒会活動や地域と連携したボランティア活動を通じて、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。